

第13回 全日本大学開放推進機構（UEJ）「大学開放研究会」のお知らせ

コロナ禍の対応で会員の皆様も大変と思います。コロナ感染確率を最低限にしながら日常生活を展開していくことに、たいへん苦慮しておられることとご推察申し上げます。

さて、UEJの関西地区のメンバーを軸として運営されてきましたUEJ「大学開放研究会」も同様に、この環境変化に対応して、今回は新しい生活様式に沿って、ウェブによるオンライン形式で実施いたします。

今後とも、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「大学開放研究会」代表 河村 能夫

日 時 2020年10月17日（土）13:30-17:00
開催方法 オンライン（ZOOM）

予定スケジュール

13:30 開会の挨拶・参加者自己紹介

13:45 第一部 事例報告及び質疑応答・討議

報告者 神部 純一（滋賀大学教授）



1963年生まれ。現在滋賀大学教育学部教授。専門分野は生涯学習であり、高齢者の自立と学習との関わりについて研究を続けている。また、「淡海（おうみ）生涯カレッジ」や「おおつ学」等、地域における生涯学習システムの開発にも取り組んでいる。

司会 佐々木 保孝（天理大学准教授）

（報告タイトル） 地方創生に向けた人づくり－官学連携による「おおつ学」の取組から－
（趣旨） 地方創生と言いつつも、東京一極集中が加速化している今日、行政のみならず、市民及び、大学などの地域の様々なアクターを結びつけた協働的な活動が求められています。そういった中、滋賀県では実際に、大学と行政との連携事業として、体験活動やワークショップ等を通して、地域に愛着を持つ人の裾野を広げつつ、地域の担い手の育成を行う「おおつ学」の講座が実施されています。今回は、地域の活性化に向けた官学連携事業のあり方について考えていきます。

15:15 休憩

15：30 第二部 共同討議

司会 出相 泰裕（大阪教育大学教授）

参加者から皆で議論したい課題・問題を提起していただきます。事前に意見を
もらいたい課題がありましたら下記の研究会事務局までご連絡ください。

17：00 終了予定

◆ 参加申込み方法 ◆

定員： 制限なし

会員以外の方でも地方創生に関心のある自治体・まちづくり団体関係者、及び
個人の方など、ご自由にご参加下さい。

会費： オンライン開催の場合は無料（通常は 1,000 円）

申込： 原則として「メールにて」①お名前 ②ご職業・ご所属 ③ご連絡先をご記載の上、
3 日前（10/14）までに事務局へお申し込みください。

ZOOM 情報については、申込者の方に研究会前日までに連絡いたします。

※参加者で「共同討議のテーマ」のある方は、具体的な内容を記載の上お申込みください。

【研究会申込み】 （研究会事務局） ckamiya1031@gmail.com

【お問い合わせ】 出相 泰裕 deai@cc.osaka-kyoiku.ac.jp